

進木

進木【すぎ】…『杉』の語源。ぐんぐんと上に向かって、まっすぐに進む木の様子。



第13号

2024年11月 発行

「学年・クラスの繋がり」

すぎ一ね

1・2年生が10～11月に「いじめ防止推進授業」を行いました。みなさんの【振り返り】を交流します。ぜひ、読んだ内容を自分自身のこととして考えてみてください。

- ① 「いじめ」をなくすために『あなたができること』・『クラスができること』 前号
- ② 『本時の感想』 本号 ※裏面もあります。忘れずに読んでください！！

今、身の周りで起きている「いじめ」は、「ダメだ」と思って、いじめられている子の身代わりになるよう意識しています。他のいじめをしている子に流されずに、いじめられている子の心がホッとできる人になりたいと思います。

1学期にもこの学習をしたけど、このいじめについての授業は、インプットがダメだと分かっていても何回も考えるひつようがあると思いました。なぜなら、インプットをしたことがある人も一度はインプットの授業を受けたことがあると思います。それでもインプットをする理由はこの授業のことでしっかり考えられてた人だったり、忘れていた人があるからだと思います。だからであなたがこの学習は、いつになってもやるひつようがあると思いました。

たたいたり、物を壊したりする以外に、暴言を言うこと、誰かをバカにして笑うことは何もあもしたくない。人の心は傷ついていることを見えないので分かりにくいので気づけないうちかもしれないから、考えを行動したいといけないうち。

聞いたことかあったりする言動もあって、いじめはや、(70)月分の近くにあるんだ、(1)月も思いました。

いじめが起きている中で一番大切な人物は、いじめられている人、いじめられている人よりも、いじめを見ている人だと思った。それを見て先生に言ったり、止めに行くか、見てみぬふりをするかによって、どちらの運命が大きく変わるから、ちゃんと正しい行動をとれるようにしたい。

誰がいじめの思いをしつづけて、学校に来たり、暴言がひどくて、居心地の悪い教室に帰ってしまうのはいやなので自分が注意できる人になりたかったです。自分が言った言葉が誰かにとってはいやだと思ったり、傷つけてしまうかもしれないという事を常に考えて、行動ができるように感じました。暴言やきつい言葉、罵詈雑言、人ごみ、おどろかす言葉も言っていた方が良い人が集まっている、周りにも良い影響をあたえたいと思います。

私のモットーである、「自分がされていやなことは絶対に相手にもしない」。これは本当に大切なことだとあらためて感じることで自分のこと、これからずっとこのモットーを覚悟して大事にし、いじめとなることを絶対にしないうちにしようと思いきした。相手の気持ちを理解しようとする気持ちが、大事だと思っています。

今回の授業で私は私自身にできることをやろうと思いきした。でも、どう頑張っても私は生徒役で解決できる限界があります。おのずから自分が意識を改めること、ダメだと思いきすが、先生は先生で生徒1人1人をしっかり見てあげることが大切だと思いきす。

いじめの原因はコミュニケーション不足で起る可能性も考えました。いじめは家族や周囲、地域環境や条件を整え、いじめを起さず、いじめを起さず環境や状況を作ることが日々に行わなければ、いじめを起さず可能性、いじめを起さず環境や状況を作ることが大切だと思いきす。いじめを起さず環境や状況を作ることが大切だと思いきす。

改めて「いじめ」について考えました。自分のクラスでは、よく暴言が気になります。みんなに小さく、ささいなことでも、「キモい」「バカ」「死ぬ」など、どんどん心た傷が増えていく言葉を、簡単に言っています。思っていないくても、くせのようにホド、言ってしまうのは、もっとダメだと思いきました。もうちょっと相手のことを考えてみんなで行動していきたいです。

「いじめ」について考える授業は何度もあったけど、その度に、道徳心を学ぶことは大事だなと思いきす。いじめをなくすために、どう行動できるか考えることができました。私のまわりにはいじめを、いじめられる人はいないと思いきす、もしも起ってしまったときに助けられるようにしたいです。

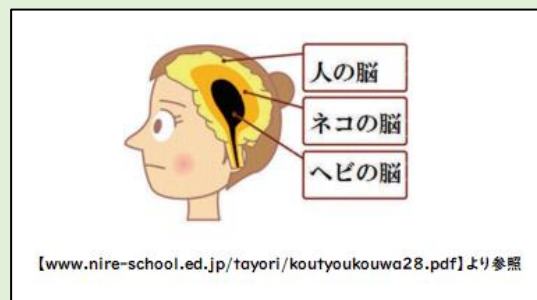
「いじめ」というものは、決してしたはいけないものだということについてくわしく知れた。だから、この学校をいじめゼロの学校にしたいです。

人間の脳は大きく【3つの層】からできているとされています。

1 番内側にある脳は、『**脳幹**』…「呼吸をしたり、物を食べたり、眠ったりする」ための働き。動物が生きていくために必要な部分。ヘビの脳とよばれます。

2 番目にある脳は、『**大脳旧皮質**』…「喜んだり、怒ったり、楽しんだりする」ための働き。感情をつかさどる部分。ネコの脳とよばれます。

1 番外側にある脳は、『**大脳新皮質**』…「物を考えたり、覚えたり、言葉を話したりする」ための働き。人間だけにしかない部分。ヒトの脳とよばれています。



さて、みなさんに質問です。「人をいじめる行為」は脳のある部分を攻撃していると言われていたのですが、この3つの脳：ヘビの脳、ネコの脳、人の脳のどれを攻撃していると思いますか？

正解はヘビの脳です。「人をいじめる行為」は相手の生きていく力を弱めていくのです。みなさんが「いじめについて考える授業」で書いた振り返りワークシートを拝見しました。いじめを「しない」「とめる」ことはとても重大であると考えてくれていました。みなさんの想いを「言葉」に、「行動」に繋げていきましょう。

世の中には絶対に言うてはいけないこと、または言うべきではないことがあります。「本当のこと」であれば何でも言うていいと言うわけではありません。ときには「正義の心」で話さないことが求められます。病気のこと、身体的なこと、能力的なこと、生まれながらに持っている特性など、その人が努力してもできないこと、治らないことは絶対に言うべきではありません。言うてはいけないのです。何を言い、何を言わないのか、その「判断力」を磨くのが学校です。

杉中学校が一人ひとりの生徒にとって「幸せな居場所」となるよう、生徒・保護者・教員の手で築いていきましょう。

またまたやります！



- ～目的～
いじめが身近にあることを意識して行動する。【ジリツ】
杉中でいじめをなくし、安心・安全な場にする。【共生】
- ～応募方法～
①classroom「いじめ防止ポスター」にPDFにて投稿
クラスコード【4rpejx2】
②デザインは自由（絵、イラスト、写真、文字など）
※作成方法は自由（タブレットアプリ、手がきなど）
- ～応募期間～
2024年11月18日（月）から12月24日（火）17：00まで
- ～審査方法～
教師と生徒による審査
- ～審査基準～
・誰が見ても傷つかないもの。
・「いじめ防止」のメッセージが込められたもの。
・著作権や肖像権に配慮しているもの。
- ～受賞作品～
応募の中から5作品を選び、選ばれた生徒は校長先生より表彰状の授与。校内の掲示をします。
※第1回の入選5作品は校内に掲示しています。

たくさんの応募をお待ちしています

再度

「校外での行動」について、2点注意をします

【1つ目】

主に登下校時について、交通ルールを守るようにしてください。道に広がり、ほかに通行する方々の邪魔になる行為がないようにしましょう。場所によっては細い道や歩道がない危険な道もあります。状況に合わせて、十分に注意をして登下校してください。もし、気づかずに注意を受けた時は素直な心で対応してください。

【2つ目】

バス乗車におけるマナーについてです。バス停で待つときの態度には十分に配慮した行動を心がけてください。ときには多くの人数が同時に待つことがあります。道を遮ることなく、壁際に並んで待ちましょう。乗車時もかなり多くの人数となる場合があります。会話の声の大きさに注意すること、なるべく多くの人が乗車できるように荷物は背負わずに足元におくこと、など周囲に配慮した行動を心がけてください。